

令和3年度当初予算編成方針

1 長期ビジョンに基づく県政推進

(1) 県民の声を聴き、価値創造型の施策を立案

- ・「徹底現場主義」の考え方にに基づき、新たな行政課題に対応
- ・市町長との政策ディスカッションなどを通じ、市町と一体となった施策を展開
- ・文化・デザインの力や若手職員の発想を活かした施策を立案

(2) 将来像の実現に向けた施策の推進

- ・「長期ビジョン実行プラン」および「第2期ふくい創生・人口減少対策戦略」に掲げる施策を着実に推進

2 感染の拡大防止と「ウィズコロナ」の経済対策

- ・検査・監視体制を充実させるとともに、医療提供体制を強化
- ・地域経済の再生や、「新しい日常」の実現を通じた産業・社会の活性化を促進
- ・産業、生活、行政を変革するデジタル化や、地方重視の「分散型国家」への転換に向けた施策を積極的に推進

3 国の予算編成への的確な対応と徹底した行財政改革の実行

- ・国の予算編成の動向について情報収集・分析を徹底し、的確に予算要求に反映
- ・「行財政改革アクションプラン」に基づく改革を着実に実施し、中長期的な健全財政を確保
- ・「政策トライアル枠予算」を継続するとともに、若手職員の発想を活かした「チャレンジ枠予算」を新たに設定
- ・税収の大幅な減少が見込まれることから、「新しい日常」を踏まえた事業実施の必要性や方法を再検討し、徹底したスクラップ&ビルドを実施

【要求基準の設定】

- | | |
|-----------|---|
| (1) 経常的経費 | 100%以内 |
| (2) 政策的経費 | 90%以内 |
| (3) 投資的経費 | 国の予算や地方財政計画等を踏まえ予算編成過程で決定
(ただし95%以内) |

※新型コロナウイルス感染症対策に係る事業について要求基準外経費として要求